

四 国

四国の景況は、観光が弱含んだものの、個人消費、設備投資が持ち直しの動きとなるなど、回復。

個人消費は、化粧品や飲食料品を中心に大型小売店販売が底堅く推移し、ドラッグストア販売が増加、乗用車販売も増加するなど、持ち直しの動き。住宅建築は、持家、貸家、分譲住宅いずれも減少するなど、弱含み。設備投資は、製造業・非製造業ともに投資を積み増す動きがみられるなど、持ち直し。公共工事は、国、県が増加したものの、独立行政法人等、市町村が減少するなど、弱含み。輸出は、一般機械、輸送用機器が増加するなど、足許増加。

生産活動は、化学、一般機械が減少したものの、電気機械、輸送機械が増加するなど、緩やかな持ち直しの動き。観光は、豪雨や台風により観光地や温泉地への入込客が伸び悩むなど、弱含み。雇用は、有効求人倍率が高水準で推移し、現金給与総額が増加するなど、回復。

先行きは、回復の動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								